

- 一般社団法人岐阜県建設業協会が定めた「OBサポーター」が、年間を通じ効果的な活動を行うために、県内工業系高校教員との意見交換会を開催しました。



一人でも多くの学生が建設業界に興味を持ってもらうための方策について、建設企業の若手技術者と工業系高校教員が意見交換を行いました。

- 1 日時 令和6年11月28日(木) 10:00～12:00
- 2 場所 サンレイラ岐阜 2F 特別会議室
(岐阜市薮田東1-2-3)
- 3 対象者 OBサポーター(一般社団法人岐阜県建設業協会会員企業に所属する若手技術者)
県内工業系高校教員、
一般社団法人岐阜県建設業協会労働委員
- 4 参加者 23名
- 5 意見交換テーマ (1) 若者が働きやすい建設産業とするための方策について
(2) 建設業の魅力向上の発信に必要なこと
(3) 工業系高校を目指す生徒を増やすには
- 6 主催 一般社団法人岐阜県建設業協会
- 7 参加者の意見
〈OBサポーター〉
 - ・現場作業時間のうち、15分間は何でも会話ができるミーティングの時間を設けている。
 - ・若手とはコミュニケーションをよくとり、「自分たちからの声掛け」、「話しやすい環境」、「分からないことを聞きやすい環境」をつくるようにしている。
 - ・働きやすい会社のPRを、SNS(インスタグラム、ユーチューブなど)媒体を上手く活用していく必要がある。
〈教員〉
 - ・今の生徒には自主性があまりみられないので、チャレンジをする大事さを指導している。
 - ・両親に工業高校の強みを知っていただかなければならない。小学校からの現場見学会などを開催し、建設業の魅力向上」をPRする必要がある。